

四万十川の「清流度」

清流通信「四万十川物語」の読者のみなさんこんにちは。

今回は、前回予告いたしました『森は海の恋人植樹祭』の予定を変更して、四万十川の透明度の測定についてお伝えしたいと思います。

毎年行われています四万十川の水質測定結果を見ると、一般に川の汚濁度を示しているBOD(生物化学的酸素要求量:有機汚濁の指標)やSS(浮遊懸濁物質:にごりの指標)は概ね良好で、むしろ改善しているように見られます。しかし、こういった数値では、川の水の「きれいさ」を具体的に思い描くことが困難で、人間が感じる微妙な水質の変化に対応できていないのではないかと考えられます。

このため、四万十川対策室と高知県環境研究センターでは、清流を代表する四万十川の変化を把握するために、水平方向の透明性(清流度)に着目し、指標として採用できるかどうか、その測定はどうやればいいのかなどを検討しています。これは「水に潜ったときに、何メートル先の魚が見えるか」をイメージしたもので、清澄度の高い水環境では、にごりのわずかな変化に対して、清流度が大きく変わる傾向があります。

専門家のアドバイスや現地調査の結果をもとに、今年度中には指標としての安定性や測定方法について結論を出す予定です。

以下は7月11日に行った測定の例です。

清流度及びSS測定結果 (H12年7月11日 測定)

測定箇所	測定項目	清流度 (メートル)		SS (mg/l)
		黒色板	白色板	
四万十川	鍛冶屋瀬橋	3.0	3.7	1
	大正流量観測所	4.4	4.9	1未満
	橋	3.5	4.0	1
	具同***	2.0	2.4	2
目黒川四万十川合流前		9.3	11.9	1未満
黒尊川四万十川合流前		13.1	16.5	1未満



45度の角度で反射鏡を取り付けた測定装置を使って、川の中を水平方向に観測し、水中の黒色板や白色板が、何メートル先まで見えるかを測定

- ・四万十川(本川)の環境基準:SS 25mg/l以下
- ・この日の具同は、上流で何らかの人為的な影響を受けているのではないかと思います。

~~~~~四万十歩行者天国~~~~~

8月に開催された四万十歩行者天国は、ご好評のうちに無事終わることができました。誠にありがとうございました。

さて、今月23日(土)にも四万十川流域の生活文化遺産としての「沈下橋」の魅力を体験していただくため、西土佐村の口屋内沈下橋を歩行者の皆様へ開放する予定です。同日は火振り漁も行われる予定です。歩行者天国の時間帯は午前8時から午後10時(火振り漁は午後7時頃から午後9時頃まで)となっています。

なお、雨天の場合は、火振り漁は中止となります。

問い合わせ先:  
 高知県四万十川対策室 088-823-9795  
 西土佐村建設課 0880-52-1111(代)

次回(10月10日発行)は『森は海の恋人植樹祭』を予定